

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「つながる力を育てよう」

～地域の一員であることを自覚し、誇りを持つ子どもを育てる～

【今年度の取組紹介】

★図書室の充実

各小学校区では、熱心なボランティアの協力による読み聞かせや、図書の修理、図書室の壁面リニューアルなど。中学校でも、文化発表会に協賛で図書室を開放し、来室者はしおり作りや、ブックカバー作りができたたり、自由に本が読める空間づくりをしたりして、いずれも本好きな子供たちが増えています。



★漢検小学6年生に受験資格を広げる

漢字や英語検定の資格が、将来の受験や社会で大きなウェイトを占める見通しの中で、今年度から受験対象を小学6年まで広げ、今後受付や、当日の試験監督など、一般にボランティア募集を行い、さらに認知度を上げていく予定です。

また、中学の学校行事である「ふれあい文化発表会」を中学校との共催とし、本年度は「落語」の鑑賞を行い、受付、司会進行をコーディネーターが務め、和やかなひと時を過ごしました。



【今年度のまとめ】

継続活動に、少しずつ幅を広げていくことで、地域の方の意識も深まり、さらに定着した活動へとつないでいくことができると思います。

【来年度に向けて】

漢検事前学習会やオンライン教材導入など、学習支援にも力を入れていきます。そのためにも、先生方と、より話し合いの場を持つことを課題としています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「つながる力を育てよう」 ～「伏見中 大好き!」と心から言える日のために～ 地域と共に育つ生徒の育成**【今年度の取組紹介】**

地域連携を主軸とした、「地域に開かれた、信頼される学校づくり」を積極的に行い、生徒の活動する場の保証と支援体制を進めてきました。

ふれあい行事（文化発表会・体育大会）

9月13日(木)に昨年度に続き、地域教育協議会との共催でふれあい文化発表会を行いました。鑑賞の司会進行や体育館での受付などを地域教育協議会の方に担当していただきました。また、雨天で延期になったふれあい体育大会は、約800名の保護者・地域の方々の参加があり、大変盛り上がりました。保護者・地域の方々も参加できる種目を設け、中学生の迫力のある競技や応援合戦発表など、地域交流と地域への発信の役割を果たしています。

**地域行事への参加(通年)**

年2回の野神公園清掃ボランティア、防災訓練などの地域行事にも積極的に参加しています。



野神公園清掃ボランティア

西大寺北防災訓練⇒
(赤いベストが本校生徒)

**【今年度のまとめ】**

ふれあい行事を通して、地域の方々や保護者が学校に来校される機会が増えていると思います。また、生徒が地域交流事業や地域ボランティアに積極的に参加することで、地域とのつながりや信頼関係が深まってきており、生徒も地域から頼りにされることを肌で感じています。

【来年度に向けて】

生徒会・部活動を中心とした地域交流やボランティア活動への参加を更に進め、より積極的に地域貢献を果たしていきたいと思います。また、学校への支援活動充実のためにも、情報発信・啓発活動にも力を入れ、コーディネーターやボランティアによる、よりよい体制づくりに取り組みたいと思います。

めざす子ども像

取組目標

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～
地域に根ざした「自ら学ぶ子ども 心豊かな子ども たくましい子ども」の
育成****【今年度の取組紹介】**

本年度は、主な柱を「地域連携による伏見まつりの開催 ～子どもの笑顔が地域を笑顔に～」 「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」 「夏季清掃や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進めてきました。

「伏見まつり」を、地域の諸団体、PTA、学校が連携して開催しました。伏見中学校ギターマンドリンクラブによる演奏会、自主防犯・防災協議会による防災訓練等多くの内容を盛り込み、地域の方々、子どもたち、学校教職員が、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。学校からは模擬店を出店しました。

学校教育活動充実の側面からは、地域の方々による家庭科学習支援や絵本の読み聞かせ活動等を行いました。このことによって、学習の場が和やかになる、互いに協力し合う雰囲気が形成される等の効果を得ています。子どもたちも、地域の方とふれ合ったり、一緒に活動したりすることをごく自然なこととしてとらえています。学校環境整備の側面からは、夏季清掃や図書室の蔵書補修等を行いました。多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださっています。

教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、一定の効果を得ることができたと考えています。

**【今年度のまとめ】**

次のような様子から、教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係づくりの面において、一定の効果を得ることができたと考えています。

- ・ 子どもたちの地域に対する愛着、関わってくださる方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・ ホームページの充実等、学習成果の発信を積極的に行えるようになってきました。
- ・ 地域の方々の学校教育活動への参加や、学校の地域行事への参加を円滑に行えました。
- ・ 伏見まつりへの教職員の参加等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに示すことができました。

【来年度に向けて】

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加が徐々に進んでいますが、継続的かつ安定的な人材の確保が今後には引き続いての課題であると考えています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てー**【今年度の取組紹介】**

○「学習支援ボランティア」事業が年間を通して展開されています。5月21日の「芋苗さし」では、1年生とわくわく学級の児童で作物を作る学習をしました。さつま芋のつるを見せてどの部分を土の中に入ればよいのか教えていただき一人1本ずつつるを畑にさしました。

○1月29日に1年生の「昔の遊びをしよう」がありました。1年生83名が体育館で駒回し、あやとりなど11種類のコーナーを回って地域の方々に遊び方を教えてもらいました。作り方や遊び方、ルールなど、手本を示しながらやさしく教えていただき、子どもたちにとって、とても楽しい学習の時間となりました。

○他にも2年生が町探検で地域の方にあやめ池神社の歴史について教えてもらったり、6年生が環境教育の一環としてEM団子を活用したプール清掃を行ったりと、様々な体験的学習を通じて地域の方々から支援を受けています。

○環境ボランティアや図書館ボランティアなど、年間を通じて支援を受けています。図書館ボランティア活動では、本の整理や修繕の他に館内の掲示物など環境整備にも力を入れていただいています。

**【今年度のまとめ】**

本校の教育活動に、たくさんの地域のみなさまのご協力を得て、様々な行事を行うことができました。図書館ボランティア活動や学習支援ボランティア活動など、年々充実している事業もあります。学校と地域の連携が深まり交流の幅が広がることで、子どもたちにとって効果的な取組となっています。関わってくださったボランティアさんの累計は1700名を超え、めざす子ども像の「心豊かに、共に生きぬく子ども」を育てることにより迫ることができたと感謝しています。

【来年度に向けて】

次年度も「地域ぐるみの子育て」を大切にして継続した取組を進めたいと考えています。本年度以上に学校と地域との連携を深めて、人々と繋がり、交わる活動を推し進めていきます。また、PTA・保護者に対しても「地域から学び、地域に誇りをもつ」児童の育成を目指す本事業への理解をさらに深めていただくよう、取組を充実していきたいと考えています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、自分たちが地域の人たちに支えられていることを感じられるような行事を作っていく。

【今年度の取組紹介】

◆昔あそび（2月1日金曜日）

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々が来てくださいます。子どもたちも楽しみにしている行事です。輪投げ、コマ回し、あやとり、百人一首（ぼうずめくり）、折り紙、お手玉など、様々な遊びを教えに来てくださいました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。



◆能体験・鑑賞（2月5日火曜日）

日本の伝統芸能である能を体験・鑑賞する取組を継続しています。地域にお住まいの金春穂高さんはじめ10名ほどの方々に来校していただき、4年生は、能のお面をつけての歩き方や所作、和楽器の演奏を教わりました。体育館で各ブースに分かれ、子どもたちは順番に体験していききました。

5年生は、能の鑑賞として目の前で迫力ある舞台を見せていただきました。日頃できない貴重な体験ができました。



【今年度のまとめ】

本校は水曜日の放課後に運動場や体育館、北っこルームを開放して「放課後子ども教室」、土日は「わんぱく広場」があり、地域コーディネーターのおかげで、子どもたちは様々なスポーツや遊びに取り組んでいます。地域の防災訓練では本校を会場に、小中一貫教育の取組として伏見中学校が参加、クラブ活動には平城中学校が参加してくれました。本校は2つの中学校に進学するため、地域も2つにまたがり交流を深めています。その他には、「ぶっくらぼこ」による本の読み聞かせや図書室の本の整理といった活動も子どもたちにより良い環境を作っていただいています。

このような様々な取組により、子どもたちは地域の方々に支えられていることを感じ、自尊感情が育ち、人や土地、地域を愛する心が育まれています。

【来年度に向けて】

今年もホームページの更新に力を入れ、「児童の様子」として学校の取組や地域との交流を紹介しました。保護者には認知度が上がり、アクセス数も増えています。今後は、地域の方にもアクセスしてもらえるよう広報活動を工夫し、地域行事の紹介にも力を入れていきたいと思っています。そして、地域の方と更に繋がっていける西大寺北小学校を目指していきたいと思っています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心が揺さぶられるような感動体験の充実。**【今年度の取組紹介】**

6月、子どもたちは「ワンサイズの板」と積み重ねて遊ぶフランス生まれの積み木“カプラ”を使って、地域の方と一緒に遊びました。どれだけ高く積めるかグループになって挑戦したところ、自分たちの背より高く積んだカプラに喜びながらも、次はどうやって積もうと悩んでいると、地域の方が抱きかかえてくださり、どんどん積み木は高くなり、大喜びの子どもたちでした。自然な触れ合いの中で、地域の方の温かさを感じることができ、のびのびと活動することができました。



7月と1月には、校区内にある喜光寺に園外保育に出かけました。「きれいなお花がいっぱい咲いてる。」と、初めて見る蓮の花に感動し匂いを嗅いだり、副住職から地域の名前の由来を聞いたりしました。自分たちの住んでいる地域や人に関心をもつことができました。

年間を通して、地域の講師の方を招いて行う「ABCで遊ぼう」に参加しました。毎回、講師の楽しい雰囲気一気に引き込まれ、遊びながら英語の発音や意味を理解したり、ジェスチャーや歌を通して、講師の方や友達と一緒に活動したりする楽しさを十分に感じるすることができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度も、地域の方との交流をたくさんもたせていただけたことで、子どもたちが人と触れ合う楽しさや喜びを感じ、また、自分たちが住んでいる地域のことを知ることもでき、園生活がとても充実したものとなりました。保護者からも「子どもたちがたくさんの地域の方に支えられて過ごしていることを知りました。」という声を聞きました。こども園に向けての移行期にあたり、日々環境が変化する中で、季節の草花や花壇づくり、環境整備に力を入れることにより、子どもたちがまわりに目を向け、少しでも多く自然を感じることができました。

【来年度に向けて】

幼稚園からこども園に移行することを踏まえ、今年度まで続けてきた事業をさらに深められるように継続する方法を、園や家庭、地域と協力しながら進めていったり、新しい取組に挑戦したりして、地域の特色を活かし、様々な活動における感動体験の充実を図っていきけるように努めていきたいと思えます。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

地域の教育力を活かした心揺さぶられる体験活動や人との触れ合いを大切にする。**【今年度の取組紹介】****＜地域交流活動 グラウンドゴルフ 昔遊び＞**

地域の方にグラウンドゴルフの遊び方を教えていただいた後、一緒にダンスをしたり、和室で昔遊びをしたりおやつを食べたりして楽しい時間を過ごしました。「じょうずになってきたね」「折り紙一緒に折ろうね」と笑顔で話しかけてもらったり遊んだりしました。地域の高齢者の方と触れ合う中で優しさや温もりを感じ、人に優しくする気持ちが育っています。

＜子どもの森で地域、親子ピザ体験＞

幼稚園の隣にある子どもの森に一年を通して行き、いろいろな活動をさせてもらっています。11月にはボランティアの方の協力で、園児が親子で調理したピザを、石焼窯で焼いてもらって、みんなでおいしいピザを食べました。森の中で鳥の鳴き声や森の空気のおいしさを感じながら、家族や地域の方と一緒に遊び、自分でつくったピザを食べるという感動体験をすることができました。保護者の方も、「この園ならではの素晴らしい活動です」「ピーマンやタマネギが苦手なのに、子どもがおいしいと言って食べています」と食育面でも嬉しい感想をいただき、楽しさと充実感を味わうことができました。

**【今年度のまとめ】**

- ◆地域の方、保護者、友達と活動することでより楽しさが増し会話が増え、人の話をしっかり聞いたり相手に分かるように話そうとしたりするなどコミュニケーション能力が高まりました。また、友達と楽しく遊び意欲的に学ぶ力も身に付いてきました。
- ◆「お茶の日」「習字の日」「サッカーで遊ぼう」「ちびっこ探検隊」「体操の日」「英語の日」などでは、地域のゲストティーチャーの指導で、本物に触れる、日本の伝統文化に触れる、五感を働かせて地域を探検する、英語や外国に興味関心を持つなど、子どもたちの豊かな学びにつながりました。自分たちの住む町に愛着と誇りが感じられ、体験を遊びに取り入れ、主体的に行動する力が高まりました。

【来年度に向けて】

本園は伏見幼稚園との再編により、平成31年度4月より奈良市立伏見こども園へ移行することから平成31年3月をもって閉園となります。地域や保護者の方々とともに、様々な感動体験をし、子どもたちは多くの学びを得ることができました。来年度は、伏見こども園にあやめ池幼稚園の保育教育を引き継ぎ、新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、自ら考え行動する子どもを育成する。

【今年度の取組紹介】

＜栽培教室～地域の人と一緒に楽しもう事業～＞

園の畑で、地域の方に教えていただきながら、玉ねぎやさつま芋、大根など、その時期の野菜などを栽培しています。苗を植える時には「寝かせておくよ」など、植え方のポイントを教えていただき、「大きくなりますように」と生長を楽しみにしながら植えていました。



時々、畑を見に行っては「葉っぱが大きくなった」など発見しては友達やお家の方に知らせていました。収穫の時には「見て！獲れたよ」と大喜びでした。収穫したものを家に持ち帰ると「苦手だったけれど、自分で収穫したものは食べられました」「普段できない貴重な体験でありがたいです」など保護者からの声も聞かれ、旬を感じ味わう食育にもつながる体験ができました。

＜お話こんにちは～絵本読み聞かせ活動事業～＞

地域の方やPTAのボランティアの方が絵本の読み聞かせをしてくださっています。「今日は何の話かな？」と毎回楽しみしていて、楽しい話に思い切り笑ったり、ちょっと心に響く話では「涙出そうになった」と、お話の世界に引き込まれたりしながら聞いています。絵本貸出では「お話こんにちはのあの絵本あるかな」と探す姿もあります。たくさんの絵本や話に触れたことで、豊かな心情や話を聞く態度が育まれました。



【今年度のまとめ】

地域の人と様々な活動を経験する中で、子どもたちは興味や関心を持ち、自ら取り組もうとしたり、遊びや生活の中に取り入れようとしたりする姿につながりました。その中で、地域の人に親しみを持ち、関わろうとする姿が見られ、共に活動することを楽しみにする姿がありました。普段なかなか経験できないことも様々な体験活動を通して経験することができて、豊かな学びとなり、地域の方への親しみや感謝の気持ちにつながりました。

【来年度に向けて】

園、地域、家庭が連携し、引き続き活動を継続したり見直したりしながら、一人一人の子どもの確かな力、豊かな心につながる体験を積み重ねていきたいと思っています。